

Japan CAP Training & Action

一般社団法人 J-CAPTA

はじめに

J-CAPTA は日本で2つ目のCAPトレーニングセンターとして2009年4月に設立しました。すべての子どもたちが安心して、自分を大切な存在と感じ、自ら行動選択ができるよう、子どもの視点からの人権尊重とエンパワメントに徹した教育活動の展開と、子ども共同参画社会を目指すアクション事業活動を行っています。

設立以来、15道県の地域グループと協力して養成講座や事業を開催し、また地域グループのニーズに合わせたテクニカル・アシスタンスを行い、CAPの普及に努めてきました。

2011年3月11日に起きた東日本大震災はJ-CAPTAの管轄する東北地域、とくに岩手県、宮城県、福島県に大きな被害をもたらしました。震災後の3月末に震災支援プロジェクト「不安を勇気に転ずるCAPのちから～JCAP311Project」を立ち上げ、地震、津波、原発事故の被災地域・避難地域でのCAP活動支援を通して、子どもの生きる力を支える取り組みを続けています。

J-CAPTA 活動実績	アクションネットワーク事業		RTC(トレーニングセンター)事業		15道県ワーク ショップ 実績
	総会事業(開催地/テーマ)	フォーラム(開催地/テーマ)	人材養成講座	実践者向講座	
2009	北海道札幌市 108人「子ども共同参画社会の実現に向けて、CAPの役割」/ 新潟県新潟市 120人「子ども人権運動とフェミニズムをつなぐCAPの思想」	※2010年朝日新聞厚生文化事業団共催にてデービッド・フィンケルホー氏来日フォーラムを開催。以降記念フォーラムを実施	4回 69人 札幌・庄内・長野・つくば	3回 75人 盛岡 P・金沢 T・千葉 SNP	1,967回 (49,795人)
2010	千葉県我孫子市 150人「今を生きる子どもたち～その理解と支援」	東京有楽町朝日ホール 500人 「子どもの声に耳を傾けること ‘子ども被害者学’のススメ」	3回 48人 塩尻・つがる・いわき	3回 70人 船橋 T・上越 SNP・柏 R	1,711回 (40,530人)
2011	宮城県仙台市 77人「仙台から希望の発信を～ひとりぼっちじゃないよ、社会的養護の視点から」	長野県長野市 62人「子どもの性の安全～被害と加害」	6回 114人 那須・新潟・盛岡・仙台・金沢・函館	2回 40人 秋田 T・札幌 P	1,534回 (33,814人)
2012	福島県いわき市 71人「福島から未来をつなぐ～やさしく生きたい、子どもの心に寄り添って」	青森県弘前市 45人「障がいのある子どもを暴力から守るために～震災を経て、今必要なこと」	3回 77人 木更津・福島・山田	4回 86人 仙台 P・いわき T・金沢 P・水戸 SNP	1,547回 (33,198人)

人材養成講座＝CAPスペシャリスト養成講座、

実践者向講座：P＝就学前プログラム、T＝中学生暴力防止プログラム、SNP＝スペシャルニーズプログラム、R＝リーダーズ研修

2012年度ハイライト

- ・JCAP311Project2 年目継続～3 県のワークショップ増、新たなグループ発足
- ・スペシャルニーズプログラム養成講座 2年ぶりの開催、「実施用テキスト」、「広報リーフレット」を発行
- ・児童養護施設プログラムの継続実施と新規施設への広がり
- ・CAPグッズ、大人気
- ・メディア掲載、NHKで全国放送

2013年度方針

- ・JCAP311Project 終了後を見据えた3年目の取り組み
- ・新たなリーダーの活躍
- ・すべてのプログラムを実施できるグループ
- ・CAP白書をつかって社会に発信

一般社団法人 J-CAPTA

2012 年度事業報告 (2012 年 6 月 1 日から 2013 年 5 月 31 日まで)

J-CAPTA 発足 4 年が経過しました。2012 年度は JCAP311Project2 年目を事業の中心におき、3 県の CAP 活動支援に力を注ぎました。J-CAPTA エリアのワーク実績数は減少から増加の兆しです。

1. アクション・ネットワーク

① 子どもの人権擁護・暴力防止に関する学習・啓発

／	開催日	テーマ	開催地	協力グループ	参加人数
総会記念講演会	7 月 28 日	「やさしく生きたい～子どもの命に寄り添って」 講師：青木悦	福島県いわき市	CAP いわき	参加者 71 人
JCAP311Project 報告会		「JCAP311Project2 年目の取り組み～ふくしまから未来をつなぐ」			
フィンケルホー記念フォーラム *WAM 助成	10 月 27 日	「障がいと虐待～その理解と支援のあり方」 講師：新田初美・宮地勉彦 他	青森県弘前市	CAP つがる CAP みちのく	参加者 45 人

<コメント> 総会事業とフィンケルホー記念事業は、地域グループの立候補によって開催地が決定されます。地域での子どもの人権や福祉、教育、虐待防止等に関わる関係機関や、多くの人々とネットワークをつなげる機会として活用されています。事業開催の際には、若い人たちをスタッフとして起用しました。

② 子どもの教育・福祉行政および人権擁護の法制度や政策への提言・活動

<コメント>今年度も被災県を中心に、地域の教育・福祉行政をグループと共に訪問し CAP 活動の理解と PR に努めました。J-CAPTA として国レベルへ働きかけをしていくことが今後の課題です。

③ 国内および世界の子どもの人権擁護、暴力防止等類似の目的を持つ団体・個人との連携

助成・連携事業	フィリップモリス・ジャパン社	児童養護施設プログラム	2,000,000 円	
	独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興事業(WAM 助成)	震災後障がいのある子どもへの暴力予防事業	5,000,000 円	
	日本ユニセフ協会 (ユニセフ連携)	宮城・岩手・福島～子どもエンパワメント CAP プロジェクト 2012	6,000,000 円	
講師派遣	11 月 2 日	研修／松戸市教育委員会指導主事(CAP なのはな)	千葉県松戸市	石附
	12 月 2 日	講演／オレンジリボン公開講座(CAP 岩手)	岩手県釜石市	木村
	12 月 9 日	講演／人権フェスタ in 矢板(子どもの人権「CAP」なす)	栃木県矢板市	石附・木村
	5 月 9 日	研修／CAP みしま・大阪「障がいのある子どもへの CAP」	大阪市高槻市	木村

団体訪問・会議出席等	7月17日	矢板市役所訪問	栃木県矢板市	石附
	7月19日	日本ユニセフ協会訪問	東京都	石附・木村
	8月7日	独立行政法人福祉医療機構 2011 年度助成事業 ヒアリング	東京都	木村
	12月7-8日	日本子ども虐待防止学会 (JaSPCAN) 高知りょう ま大会「パネル展示参加・ワークショップ実施」	高知県高知市	石附・木村・ 山根
	2月22日	フィリップモリス・ジャパン社訪問	東京都	石附・木村

〈コメント〉助成連携団体からの評価を受け、フィリップモリス・ジャパン社助成 (CCJ と共同) は 5 年目、WAM 助成は 3 年目、ユニセフ連携は 2 年目と継続されました。日本子ども虐待防止学会 (JaSPCAN) 高知りょうま大会では「子どもの被害を包括的に捉える予防教育の取り組み」として、森田ゆりが開発した日本のティーンズ向け CAP プログラムの内容と実践の現状を、ワークショップ分科会で発表しました。

④ CAP に関する情報提供・広報

ホームページ更新	7月1日、9月1日、4月1日、5月1日	
ブログ更新	タイトル	アクセス
6月30日	報告:就学前プログラム養成講座 in 仙台 終了しました	532 件
7月4日	お知らせ:J-CAPTA 総会事業のご案内	629 件
7月31日	報告:総会事業 in いわき 終了しました	
8月3日	報告:JCAP311Project1 年報告会 in いわき	536 件
8月8日	報告:CAP スペシャリスト研修 in いわき	
8月11日	ふくしまから未来をつなぐ～ハッピーアイランド	
8月31日	お知らせ:ユニセフ連携事業「CAP スペシャリスト養成講座 in 福島」開催	
9月21日	報告:ワーク応援隊出動しました	877 件
10月4日	お知らせ:フィンケルホー記念フォーラム in 弘前	806 件
10月16日	報告:「CAP スペシャリスト養成講座 in 福島」終了しました。	
10月24日	お知らせ:CAP 中学生暴力防止プログラム in いわき 開催	
11月3日	報告:フィンケルホー記念フォーラム 2012in 弘前、終了しました	652 件
11月7日	お知らせ:WAM 助成障がいのある子どもへの CAP プログラム広報リーフレットできました	
11月15日	報告:CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in いわき、終了しました	
11月23日	お知らせ:ユニセフ連携事業「CAP スペシャリスト養成講座 in 岩手沿岸部」参加者募集中!	
12月13日	報告:JaSPCAN 高知りょうま大会に参加しました	592 件
12月29日	報告:ユニセフ連携事業「CAP スペシャリスト養成講座 in 岩手沿岸部(基礎編)」終了	
1月20日	お知らせ:「CAP 就学前プログラム養成講座 in 金沢」開催	649 件
1月29日	お知らせ:独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興事業「CAP スペシャルニーズプログラム 養成講座 in 水戸」開催!	
2月15日	J-CAPTA 正会員・準会員・アクション会員・支援会員の皆様 2013 年総会事業日程変更のお 知らせ	650 件

3月1日	報告:独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興事業「CAP スペシャルニーズプログラム養成講座 in 水戸」終了	528 件
3月29日	お知らせ:2013年、J-CAPTA 養成講座開催予定	
4月23日	お知らせ:フィリップモリス社助成 CAP 児童養護施設プログラム	730 件
4月30日	お知らせ:「CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in 長野」開催	
5月	/	836 件
メディア等の 掲載	NHK ハートネット TV「カキコミ! 深層リサーチ File5 子どもの性暴力被害(2) 9月19日放映	
	日本ユニセフ協会 ホームページ東日本大震災支援情報 第164報「福島市でCAPスペシャリスト養成講座修了」 第181報「岩手県山田町でCAPスペシャリスト養成講座を開催しました」 第197報「岩手:学童指導員ら専門家にCAP(子どもの暴力防止)研修」 日本ユニセフ協会緊急・復興支援活動2年目レポート	
	セーブ・ザチルドレン・ジャパン ホームページ東日本大震災/子どもの保護活動報告 2013.6.13 子どもたちをあらゆる「暴力」から守る～CAPプログラムの大切さ～	

〈コメント〉これまでCAPの知的所有権等を考慮しマスコミの取材に関して慎重な姿勢を取ってきましたが、昨年度の日本ユニセフ協会連携事業の動画配信を契機に、メディアを積極的に活用するためにガイドラインを見直しました。

⑤ 子どもへの暴力防止およびCAPに関連する刊行物の出版、グッズの作成

テキスト	障がいのある子どもへのCAPプログラム実施用テキスト *WAM助成	2013年2月1日発行
グッズ	リーフレット「障がいのある子どもへのCAPプログラム」 *WAM助成	2012年10月発行
	リーフレット「今こそふくしまにCAPを広げよう!」 *ユニセフ連携	2012年7月発行

〈コメント〉「障がいのある子どもへのCAPプログラム」の普及はJ-CAPTA2012年度の大きな柱の一つでした。その実施用テキストと普及のためのリーフレットを作成しました。また、リーフレット「今こそふくしまにCAPを広げよう!」は、福島県内の学校、行政、関係機関等への訪問やPRに積極的に活用されました。

2. RTC 事業

① CAPスペシャリスト養成講座

講座 種別	開催日	開催地	協力グループ	トレーナー (事務局)	参加人数
基礎編	7月14・15・16日	千葉県木更津市	CAPももくりさんねん	石附・木村	受講者6人・FU3人
実践編	9月22・23日			石附・(木村)	受講者6人・FU6人
基礎編	9月14・15・16日	福島県福島市 *ユニセフ連携	こどもCAPふくしま	石附・木村	受講者45人・FU4人
実践編	10月13・14日			石附・(木村)	受講者45人・FU4人
基礎編	12月21・22・23日	岩手県山田町 *ユニセフ連携	沿岸CAPサポーター	石附・木村	受講者26人
実践編	1月19・20日			石附・(木村)	受講者26人・FU4人

プレ	6月23・24日	宮城県仙台市 *WAM助成	CAPみやぎ	石附・木村・ (山根)	受講者17人・FU8人
	1月26・27日	石川県金沢市	子どものけんりCAPいしかわ	石附・西野	受講者12人・FU5人
ティーンズ	11月10・11日	福島県いわき市	CAPいわき	石附・西野 (木村)	受講者24人・FU7人
SNP	2月2・3日	茨城県水戸市 *WAM助成	CAPいばらき	木村・(石附)	受講者33人・FU4人
トレーナー養成	/	/	/	/	/

<コメント>2年ぶりに開催したSNP養成講座はJ-CAPTA講座2番目の参加者数となり(1位はユニセフ連携事業CAPスペシャリスト養成講座in福島)、関心の高さが伺われました。またどの会場もスペシャリストのスキルアップの機会として、フォローアップ受講のシステムが活用されていました。一方、助成連携事業以外の養成講座は参加者数が少なく、財政を圧迫していることが大きな課題であり、新たな戦略が必要です。

② CAPスペシャリスト(SP)研修

開催日	テーマ	開催地	協力グループ	参加人数
7月29日	「続・社会的責任期におけるCAP活動～ホンキで普及・継続・連携」講師：川北秀人	福島県いわき市	CAPいわき	受講者39人
	「児童養護施設プログラム実施用テキスト説明会」トレーナー：石附幸子			受講者18人
10月28日	「障がいのある子どもへのCAP研修&実践報告会」トレーナー：木村里美 *WAM助成	青森県弘前市	CAPつがる CAPみちのく	受講者28人

<コメント>川北監事の運営研修は2年目でした。団体基礎情報の更新と開示に取り組み、データから課題の把握と共有に努めました。障がいのある子どもへのCAP実践報告会では、北海道CAPをすすめる会、CAP・にいがた、CAPみしま・大阪、CAP岩手、CAPつがるが報告しました。

③ テクニカル・アシスタンス(TA)、講師派遣等

グループ名	実施日	内容	開催地	担当
CAPこおりやま	6月1日	小学校教職員ワークショップ	福島県郡山市	石附
	12月4日	放課後児童指導員ワークショップ	福島県本宮市	石附
	1月12日	公開おとなワークショップ	福島県郡山市	石附
	1月16日	児童館保護者ワークショップ	福島県本宮市	石附
CAPみやぎ	6月5日	児童養護施設職員ワークショップ	宮城県仙台市	石附
	9月20日	小学校子どもワークショップ	宮城県名取市	木村
	1月9日	保育園教職員ワークショップ	宮城県石巻市	石附
あいづCAP	6月16日	小学校保護者ワークショップ	福島県会津若松市	石附
	9月29日	中学校保護者ワークショップ	福島県会津若松市	石附
	9月30日	公開ワークショップ	福島県会津若松市	石附
	1月22・24日	中学校子どもワークショップ	福島県会津若松市	石附
CAP岩手	6月18日	おとなワークショップ	岩手県山田町	石附

子どものけんり CAP いしかわ	6月20日	保育園教職員ワークショップ	石川県小松市	石附
こども CAP ふくしま	8月6日	教職員ワークショップ	福島県伊達市	石附
CAP あきた	8月31日	児童養護施設職員・子どもワークショップ	秋田県秋田市	石附
	2月21日	児童養護施設地域セミナー	秋田県秋田市	石附
	2月23-24日	児童養護施設子どもワークショップ	秋田県秋田市	石附
CAP みちのく	9月18-21日	保育園・幼稚園教職員・保護者・子どもワークショップ	青森県大鰐町	石附
	11月16日	児童養護施設職員ワークショップ	青森県弘前市	石附
	11月17日	プレ公開ワークショップ	青森県大鰐町	石附
子どもの人権 「CAP なす」	9月25日	児童養護施設職員ワークショップ	栃木県足利市	石附
	1月5-6日	児童養護施設職員子どもワークショップ	栃木県足利市	石附
CAP ぽけっと	11月7日	母子支援施設職員ワークショップ	千葉県千葉市	石附
	11月21日	児童養護施設職員ワークショップ	千葉県一宮町	西野
	1月8・10日	中学校子どもワークショップ	千葉県千葉市	石附
CAP 庄内	12月1-3日	児童養護施設職員・子どもワークショップ	山形県山形市	石附
CAP いばらき	12月11-12日	中学校子どもワークショップ	茨城県茨城町	石附
CAP わらしっこ	3月10日	障がいのある子どもへの CAP 公開ワークショップ	青森県十和田市	木村
	15・18・19・21日	保育園教職員・子どもワークショップ	青森県十和田市	木村
CAP リアス準備会	3月19日	公開おとなワークショップ	岩手県山田町	石附
	5月28日	障がいのある子どもへの CAP 学童指導員ワークショップ	岩手県大船渡市	木村
	5月29日	障がいのある子どもへの CAP 学童指導員ワークショップ	岩手県釜石市	木村
	5月31日	学童指導員ワークショップ	岩手県山田町	石附

<コメント> 地域グループが新たに取り組む中学生プログラム、児童養護施設プログラム、障がいのある子どもへの CAP プログラムや、継続や3本実施を進める理解を得るため教職員ワークショップを中心に、14グループへTAを行いました。実践の現場を通しての研修はグループのスキルアップ、モチベーションの向上につながり、それぞれのプログラムの地域での普及に貢献できたと評価しています。

④ グループ訪問

実施日	訪問先		担当
7月17日	行政訪問	矢板市(栃木県)	子どもの人権「CAP」なす & 石附
6月19日	行政訪問	山田町(岩手県)	石附
7月30日	行政訪問	福島県庁	福島県のグループ & 石附
10月15日	行政訪問	須賀川市・本宮市・大玉村(福島県)	CAP こおりやま & 石附
10月26日	行政訪問	釜石市・大槌町・山田町・宮古市	日本ユニセフ協会 & 石附・木村
10月29日	行政訪問	山田町・宮古市	石附・木村
5月29日	行政訪問	大槌町	日本ユニセフ協会 & 木村
5月30-31日	行政訪問	岩手県山田町	CAP リアス準備会 & 石附

<コメント> TAに行った折に、機会を設けて地域グループと共に行政訪問を行い、CAPの理解と普及に努めました。

⑤ フィリップモリス・ジャパン社助成事業

グループ名	施設数	WS 数	参加人数
北海道 CAP をすすめる会	1	6	69
CAP みちのく	1	1	24
CAP あきた	2	11	182
CAP 庄内	1	5	50
CAP みやぎ	1	7	93
CAP ぽけっと	1	5	85
ENJOY CAP	1	4	40
CAP ももくりさんねん	1	3	38
CAP・にいがた	3	10	172
CAP しなの	1	4	33
CAP 里山	3	16	163
CAP ながの	9	21	289
12 グループ 合計	25	93	1238

<コメント>フィリップモリス助成の J-CAPTA 事業 3 年目は配分額が 250 万円→200 万円と減少の中、2011 年度比で 4 施設、15 ワーク、参加者数 297 人の増加となりました。要因として、継続施設実施の際の自己資金拠出の努力、施設側からの一部経費負担、また実績が評価された長野県などの行政からの助成等があげられます。新規助成での実施は 6 施設あり、今まで CAP の普及が難しかった青森県、秋田県でも実施されました。新規施設での実施をより推進させるために、昨年度より J-CAPTA ワーク経費一律基準を設けました(新規施設 20000 円/継続施設 10000 円)。また実践経験のないグループへは J-CAPTA 自己負担により TA 支援をしたことが、新たな施設での実施拡大へとつながりました。

継続助成での実施は、2 年目 5 施設、3 年目 7 施設、4 年目 6 施設、5 年目 1 施設あり、継続実施の実績が今まで実施されていない県や新規施設での実施を可能にしました。

3. その他

① 会議の開催

会議名	実施日	開催地	参加者
定時総会	7 月 28 日	福島県いわき市	出席正会員数 41 / 全 46
理事会	7 月 28 日 ・事業計画の件 ・トレーナー養成の件 ・その他	福島県いわき市	坪井理事、新田理事、宮地理事、木村理事、(事務局 1 人)
	5 月 26 日 ・総会開催の件 ・2013 年度事業の件	東京都	坪井理事、新田理事、宮地理事、木村理事、(事務局 1 人)
トレーナー会議	5 月 11 日	大阪府大阪市	森田・石附・木村・西野
事業推進会議	* ユニセフ連携事業: 9/3(宮城県仙台市)3 人、5/29(岩手県盛岡市)3 人		
	* WAM 助成事業: 7/28(福島県いわき市)12 人、9/24(宮城県仙台市)10 人、10/12(宮城県仙台市)9 人、10/25(岩手県盛岡市)7 人、10/29(岩手県宮古市)6 人、11/9(福島県いわき市)6 人、1/20(岩手県山田町)7 人		
事務局会議	5 月 12 日	大阪府枚方市	3 人

<コメント>総会当日出席者は 20 グループで 60 人でした。各地持ち回りで開催する総会事業が会員相互の交流の機会としても定着しました。理事会の定時開催に努めました。事務局会議やトレーナー会議はインターネットオフィスや電話を活用し、日常的に進捗状況の共有をしました。また J-CAPTA 事業の際に会議をセットして、経費節減をしました。

② RTC 関連

RTC 間協力会合	/	/	/
ICAP	随時メールでやり取りした		

<コメント>RTC 間協力会合は、今年は大きなテーマがなかったため開催しませんでした。随時メールや電話で課題の共有と整理、対応を図りました。

③ ニュースの発行

J-CAPTA ニュース 19 号	6 月 30 日発行	1. 活動報告 2. 総会関連事業案内 3. JCAP311Project<報告 6> 4. J-CAPTA のこだわり (その 13. 被災地で CAP を届ける意味~そこに生きる人たちの声を聴く) 5. Q&A 6. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 20 号	10 月 10 日発行	1. 活動報告 2-3. 総会報告 4-5. 総会事業報告 6. J-CAPTA のこだわり (その 15. いじめ問題と CAP、今ほど CAP の活用がもたらされているときはありません) 7. Q&A 8. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 21 号	1 月 5 日発行	1. 活動報告 2. フィンケルホー記念フォーラム・スペシャリスト研修報告 3. JCAP311Project<報告 7> 4. J-CAPTA のこだわり (その 16. ティーンズプログラムのこころ、子どもへの信頼とプログラムへの信頼 (開発から現在まで) 5. Q&A 6. インフォメーション
J-CAPTA ニュース 22 号	4 月 15 日発行	1. 活動報告 2-3. JCAP311Project<報告 8> 4. J-CAPTA のこだわり (その 17. スペシャルニーズプログラムの魅力「失敗で終わらせない」ということ 5. Q&A 6. インフォメーション

<コメント>J-CAPTA ニュースを RTC と会員一人ひとりをつなぐ重要なツールと考え、J-CAPTA の動向、事業の進捗状況、スペシャリストとして必要な情報、ワークショップ実施するにあたっての質問への返答等の情報発信をしました。準会員へはグループへ一括送付し、グループから会員へ配布してもらいます。会員一人一人へ情報が届けられ活用されることを期待しています。

④ メルマガの配信

No.64	6 月 5 日	「2012 年度フィリップモリス助成および JCAP311Project 助成のワークショップ実施報告書提出のお願い」
No.65	6 月 21 日	「2012 年総会事業のお知らせ」
No.66	7 月 2 日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 木更津参加者募集！」
No.67	7 月 18 日	「総会資料を発送しました」
No.68	7 月 30 日	「総会事業 in いわき終了しました」
No.69	8 月 12 日	「JCAP311Project 助成ワーク募集のお知らせ」
No.70	8 月 26 日	「ワーク応援隊募集！」
No.71	9 月 11 日	「フィンケルホー記念フォーラム 2012in 弘前のお知らせ」
No.72	9 月 18 日	「CAP テレビ放映の方のお知らせ」
No.73	10 月 5 日	「中学生暴力防止プログラム養成講座 in いわき開催のお知らせ」
No.74	11 月 6 日	「フィンケルホー記念フォーラム開催地募集のお知らせ」
No.75	11 月 8 日	「障がいのある子どもへの CAP プログラムの広報リーフレットできました！」
No.76	11 月 23 日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 岩手沿岸部開催のお知らせ」
No.77	12 月 5 日	「CAP 就学前プログラム養成講座 in 金沢開催のお知らせ」

No.78	12月14日	「養成講座開催希望アンケートのお知らせ」
No.79	12月17日	「CAP スペシャルニーズプログラム in 水戸開催のお知らせ」
No.80	12月29日	「2012 年最後の事業終了」
No.81	2月8日	「2013 年総会日程変更のお知らせ」
No.82	3月8日	「2013 年度 J-CAPTA 養成講座開催予定のお知らせ」
No.83	4月17日	「ワークショップ集計提出のお願い」
No.84	4月20日	「フィリップモリス社助成 2013 募集のお知らせ」
No.85	4月27日	「ニュース 22 号の発送のお知らせ」
No.86	4月30日	「CAP 中学生暴力防止プログラム養成講座 in 長野開催のお知らせ」
No.87	5月9日	「CAP スペシャリスト養成講座 in 秋田開催のお知らせ」
No.88	5月12日	「フィリップモリス助成 2013 申込受付の確認のお願い」
No.89	5月20日	「J-CAPTA ホームページ、グループマップ更新のお知らせ」
No.90	5月28日	「フィリップモリス助成 2013」助成決定のお知らせ」

<コメント>メルマガは主にグループへの情報発信のツールとして使っています。実務手続きとその様式、迅速性を求められるもの、共有すべきホットな情報を配信しました。

4. JCAP311Project

JCAP311Project2 年目は、ユニセフ連携事業、WAM 助成事業、311 支援金により、3 県グループの CAP 活動支援と、3 県および避難地域での CAP ワークショップ無料提供を実施しました。また 3 県での人材養成講座開催により、宮城県と岩手県に新たな CAP グループが誕生しました。養成講座受講者がさらに地域グループに繋がって活動するために、また県内の CAP グループの連携を目的に各県の特徴をだしたフォローアップ学習会と 311 ミーティングを実施しました。グッズは均一な質のワークショップの提供に使われました。

<3 県でのワークショップ実績>

ワークショップ 実績 3 県 2012	子どもワークショップ		おとなワークショップ		合計		実施地域
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	
岩手県	6	113	24	339	30	452	*盛岡市、岩手町、陸前高田市、山田町、宮古市、釜石市、大槌町、大船渡市、遠野市、八幡平市、滝沢村
宮城県	80	1662	62	1188	142	2850	*仙台市、石巻市、岩沼市、大崎市、気仙沼市、名取市、南三陸町、山元町、利府町、亘理町、富谷町
福島県	21	432	47	1337	68	1769	福島市、相馬市、伊達市、郡山市、本宮市、会津若松市、喜多方市、三島町、いわき市、須賀川市
2012 年度合計	107	2207	133	2864	240	5071	
2011 年度合計	67	1538	69	1611	136	3149	

<311Project によるワークショップ提供>

ワークショップ実績	子どもワークショップ		おとなワークショップ		合計		提供先
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	箇所
WAM 助成事業 3 県	19	457	27	571	46	1,028	17
WAM 助成事業 3 県外	19	515	11	300	30	815	10
ユニセフ連携事業 3 県	16	393	65	1372	81	1,765	60
合計	54	1,365	103	2,243	157	3,608	87

② スタッフ養成

スペシャリスト養成講座	受講者数	SP 認定
ユニセフ連携事業(福島市・岩手沿岸部)	69	61
学生 311 支援(3 県以外)	3	3

③311 ミーティング、学習会の開催

実施日	協力グループ	開催地	参加人数	担当
6 月 4 日	フォローアップ交流学習会 in 宮城 「Let's CAP～子どもワークショップを極める」	宮城県仙台市	3 人	石附
6 月 6 日	CAP 岩手定例会への参加	岩手県盛岡市	／	石附
8 月 7-8 日	311 ミーティング/CAP みやぎ	宮城県仙台市	6 人	石附・木村
8 月 24 日	311 ミーティング/CAP みやぎ		7 人	石附・木村
3 月 2 日	ユニセフ連携事業フォローアップ交流学習会 仙台会場 「レッツ・トライ!～護身術&ロールプレイ」	宮城県仙台市	13 人	石附・木村
3 月 3 日	ユニセフ連携事業フォローアップ交流学習会 福島会場 「ミニ学習会～トークタイムをもう一度」	福島県福島市	27 人	石附・木村
3 月 16 日	ユニセフ連携事業フォローアップ交流学習会 盛岡会場 「トレーナーによるおとなワークショップ実演」他	岩手県盛岡市	18 人	石附・木村
3 月 17 日	ユニセフ連携事業フォローアップ交流学習会 岩手沿岸部会場 「岩手沿岸部 CAP 準備会第 1 回ミーティング」	岩手県山田町	18 人	石附・木村

③ ワーク応援隊の派遣

・9 月 20 日 CAP みやぎ小学校保護者・子どもワークショップ(宮城県名取市) 6 人を派遣しました

④ グッズの頒布

3 県のすべてのワークショップで、J-CAPTA&ユニセフ共同作成「きってあって CAP」「CAP 読本」および「CAP 教職員ワークショップ冊子」を頒布しました。

5. 会員・役員等

会員	正会員：44 グループ	準会員：500 人	アクション会員：51 人	支援会員：10 人
寄付	個人：9 人、団体：2、事業会場でのカンパ			
役員	理事長：森田ゆり			
	理事：坪井節子、新田初美、宮地廸彦、木村里美			
	監事：川北秀人、松林恵美子			
トレーナー	森田ゆり、石附幸子、木村里美、西野緑			
事務局	チーフディレクター：木村里美、トレーニングディレクター：石附幸子 事務局スタッフ：山根若子			

<参考>

ワークショップ集計	子どもワーク		おとなワーク		合計		備考 グループ 数
	回数	人数	回数	人数	ワーク数	参加者数	
2012 年 3 月までの全国合計	100,335	2,928,296	52,254	1,818,578	152,589	4,746,874	134
J-CAPTA2012 年(4 月～3 月)	853	19,037	694	14,161	1,547	33,198	47

以 上